

# 香川労働局長がベストプラクティス企業として 「帝國製薬株式会社」(東かがわ市)を訪問！ ～荷主によるトラック運転者の長時間労働解消の取組～

香川労働局長（栗尾 保和）は、11月の「過重労働解消キャンペーン」の一環として、2023年11月24日（金）に、帝國製薬株式会社を訪問しました。訪問は香川運輸支局、四国経済産業局と合同で行い、運送業者である日本通運株式会社四国支店も交えて意見交換を行いました。

## 【ベストプラクティス企業概要】

### 帝國製薬株式会社

- 本社所在地：香川県東かがわ市三本松567番地
- 設立：1918年
- 業種：医薬品製造販売業
- 従業員数：763人（令和5年11月現在）



## 2024年4月から改正労働基準法な

どが適用されるトラック運転者の長時間労働の要因の中には、長時間の荷待ちなど個々の運送業の事業主だけでは改善が困難な部分もあり、荷主の能動的な対応が必要不可欠です。

こうしたことから、本年度のベストプラクティス企業訪問は、荷主としてトラック運転者の労働時間削減等に積極的に取り組んでいる帝國製薬を訪問しました。

帝國製薬は「ホワイト物流」推進運動に2021年10月に参加を表明し、ホームページにおいて荷主としての自主行動宣言を掲載しています（QRコード参照）。

## 荷主としての取組内容

### ①【パレット輸送】

あらかじめ、商品が入った段ボール箱をパレット上に積載・梱包しておき、フォークリフトでパレットごとトラックに積み込むもの。手作業によりバラ積みを行った場合に比べ、積載効率は落ちるが、作業時間が4分の1程度になった。

### ②【鉄道コンテナによるモーダルシフト】

鉄道により荷物を輸送するもの。一部の輸送で実施。トラック輸送に比べ環境負荷も少ない。

### ③【トラックバースの予約システム】

荷物の積みおろし時刻を予約するもの。商品の着荷主の導入に応じて発荷主として積極的に対応。

### ④【着時刻繰下げの連絡】

明石海峡大橋等に交通規制が生じたときは、帝國製薬から商品の着荷主に連絡。

### ⑤【自社社員による荷役作業の実施】

荷役作業をトラック運転者に行わせず、自社の社員が実施。

### ⑥【スイッチング輸送】

遠方へトラックのみで輸送する場合、中継地点を介して複数人のドライバーで輸送を分担。

### ⑦【土日をもたいた配送依頼をしない】

商品の配送は月曜から木曜の間に行うよう配送計画を調整し、ドライバーの休日取得に配慮。

### 「ホワイト物流」推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
帝國製薬株式会社	代表取締役社長	藤岡 実佐子	香川県	製造業	<a href="https://www.teikoku-ph.co.jp/">https://www.teikoku-ph.co.jp/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新	2021/10/12
------	------------

（取組方針）  
・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。  
（法令遵守への配慮）  
・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるように、必要な配慮を行います。  
（契約内容の明確化・遵守）  
・運送及び荷役、検品等の運送以外の役割に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A	① 物流の改善提案と協力	取引先や物流事業者から待機時間の短縮、運転者の手作業による荷降ろしなど付帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A	⑦ 運転以外の作業部分の分離	物流事業者から運転業務と運転以外の付帯作業の分離について相談があった場合は、発荷主・着荷主の両者の立場において真摯に協議に応じます。
3	A	⑧ 出荷に合わせた生産・荷造り等	出荷順序に合わせた荷造りを行い、運転者の荷待ち時間を短縮します。
4	A	⑩ リードタイムの延長	発荷主として出荷予定時刻を厳守します。また、着荷主として運転者が適切に休憩を取りながら運行が出来るように到着時刻に幅を持たせ、十分なリードタイムを確保します。
5	D	② 異常気象時等の運行の中止・中断等	台風、豪雨、大雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。

PR欄	帝國製薬は長年にわたって培ってきた消炎鎮痛/パップ剤の技術をもとに、「経皮吸収技術」の他の治療領域への応用と「人間の痛みからの解放」をスローガンとした痛み全消に對する取り組みを行っています。物流事業者との協力体制を維持し、安心・安全な医薬品を患者様へお届けすることで社会へ貢献してまいります。
-----	--

## 帝國製薬 藤岡社長のお話

薬（製品）が患者様に届かないということは絶対に避けなければなりません。そのために、具体的な対策に取り組んでいます。

## 帝國製薬 役員・幹部のお話



《出荷する商品をトラックに積み込む作業を見学しました》

- 安定供給は当社の強みであり、物流もその要素の1つです。2024年問題は、経営計画に組み込んだ上で対応に当たっています。対応に当たって、まず物流事業者に提案を求めました。双方で知恵を出し合って取り組んでいます。
- 荷待ち時間を30分以内とし、荷役作業を含めて60分以内に作業を終えることを基本としています。
- 鉄道輸送は、トライアルで振動等による品質への影響が無いことを確認でき、実現できました。来年4月から、運転手を1人から2人に増やすかりードタイムが+1日となる長距離輸送経路があり、コストが倍加します。鉄道輸送は、今のトラック輸送よりコスト増ですが、4月以降の比較としてはコスト減になります。
- 今後は内航船によるモーダルシフトや着荷主としてのトラックバースの予約システム活用を検討しております。

## 日本通運 鷺川四国支店長のお話

帝國製薬には「健全な危機感」を持って、一緒に手を携えて考えながら対応してもらっています。それに応え、責任を持って帝國製薬の荷物を運びきるようにしたいと思います。

- 元請として、当社の協力会社に長時間労働を強いることなく、輸送を実現して参ります。



《帝國製薬から荷主としての取組事項について説明をしていただきました》



非常に有意義な意見交換をすることができました。ご参加、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

《左から

四国経済産業局 産業部  
商務・流通産業課長 松岡様  
香川運輸支局長 漆原様  
香川労働局長 栗尾  
帝國製薬代表取締役社長 藤岡様  
帝國製薬常務取締役 植田様  
日本通運四国支店長 鷺川様》